

小学校 算数の領域構成

第1学年「算数科」シラバス

- 次の4領域です
- 数と計算
 - 量と測定
 - 図形
 - 数量関係

1年生の目標

- 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算のしかたを考え、用いることができるようにする。
- 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。
- 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに読み取ったりすることができるようにする。

★評価の観点

- ①「算数への関心・意欲・態度」
数量や図形に親しみを持ち、それらについて様々な経験を持つようとする。
→行動観察
- ②「数学的な考え方」
算数的活動を通して、数理的な処理に親し
→行動観察、ノート、プリント、ドリル、テスト
- ③「数量や図形についての表現・処理」
整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを比較したり、身近な立体を観察したり構成したりする。
→行動観察、ノート、プリント、ドリル、テスト
- ④「数量や図形についての知識・理解」
数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量や図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。
→行動観察、ノート、プリント、ドリル、テスト

	学習する単元の名称	主な学習内容
前 期	1. なかまづくりとかず	・10までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を用いることを学びます。 ・数を用いてももの順序を正しく表すことを学びます。
	2. なんばんめ	・10までの数の構成を理解し、数を多面的にみることを学びます。
	3. いくつといくつ	・加法の意味と和が10以内の加法計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることを学びます。
	4. あわせていくつ ふえるといくつ	・減法の意味と被減数が10以内の減法計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることを学びます。
	5. のこりはいくつ ちがいはいくつ	・20までの数について、個数の数え方、数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を用いることを学びます。
	6. 10よりおおきいかず	・時刻に関心をもち、時計から何時、何時半の時刻を読むことを学びます。 ・ものの個数を絵や図などを用いて表したり、読み取ったりすることを学びます。
	7. なんじなんじはん	・長さの比較などの活動を通して、長さや測定についての理解の基礎となる経験や、長さについての感覚を豊かにすることを学びます。
	8. はなはなんこ さいたかな	・3つの数の加減計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それらを用いることができるようになります。
	9. どちらがながい	・体積の比較などの活動を通して、体積とその測定についての理解の基礎となる経験や、体積についての感覚を豊かにします。
	10. 3つのかずの けいさん	・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることを学びます。
	11. どちらがおおい	
	12. たしざん	
後 期	13. かたちあそび	・身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、立体図形についての理解の基礎となる経験や感覚を豊かにします。
	14. ひきざん	・11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方考え理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることができます。
	★どんなけいさんになるのかな	・加法や減法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばします。
	15. どちらがひろい	・面積の比較などの活動を通して、面積の概念や測定についての理解の基礎となる経験や面積についての感覚を豊かにします。
	16. 20よりおおきいかず	・2位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を用いることができます。
	17. なんじなんぷん	・時刻に関心をもち、時計から何時何分の時刻を読めるようにし、日常生活に生かすことができます。
	★ビルをつくらう	・順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し、それを用いることができます。
	18. ずをつかつかんがえよう	・数の乗除法的構成を理解する。
	19. かたちづくり	・身の回りにあるものの形を観察したり構成したりするなどの活動を通して、平面図形について理解の基礎となる経験や感覚を豊かにします。
★ばしよをあらわそう	・数を用いた位置の表し方を理解します。	
★けいさんピラミッド	・既習事項を総合的に適用して問題を解決することを通して、既習内容の理解を確認します。	
★1ねんのふくしゅう	・既習内容を活用して問題を解くことができるようになります。	